

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援/放課後等デイサービス Olinaceおゆみ野		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 4日		2025年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		2026年 1月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・脳科学理論をもとにした運動療育	・「動」と「静」のセットでメリハリを意識 「動」と「静」の組み合わせで脳と体が成長し集中力を身に付けます。脳と体は相互関係にあります。体を動かすと脳(前頭前野)が活性化し、集中するために必要な脳の領域が元気になります。「動」と「静」の活動を交互に繰り返すことにより、興奮を瞬時に抑制する力が高まります。動と静のメリハリで、より強い抑制力を育てるため、結果的に集中する力が身に付きやすくなります。 ・一人一人のレベルに合わせた運動の提供します 運動が苦手でも、一人一人のレベルに合わせて楽しみながらできる運動遊びを提供します。	・定期的な運動研修の実施やアレンジした運動プログラムの共有
2	専門職を配置	・専門的視点で、個別及び集団支援を行うことができている。 ・その日の利用児童に応じて日課の工夫や活動プログラムの工夫を行って支援しています。	・研修機会を増やし、職員のスキルアップをめざしていく。
3	様々な職種経験をもった職員が在籍	・多様な考えの元、幅広い支援ができる環境を用意することができる。	・多様な職業経験をもった職員が連携を図り、多角的な視点から子ども達の支援を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の少なさ	・地域のイベントに参加する機会が見つけられず、交流を持つことができていない。	・地域活動の情報収集を積極的に行い、実施していく。
2	見学を多数来ていただいているが、契約待ちをして頂いている。	・現在利用されているお子さんの療育を充実させている為、新規での受け入れが難しい。	新規契約が行えるよう、利用日の調整や変更等を工夫していく。
3			